

10月都内物価2.7%上昇

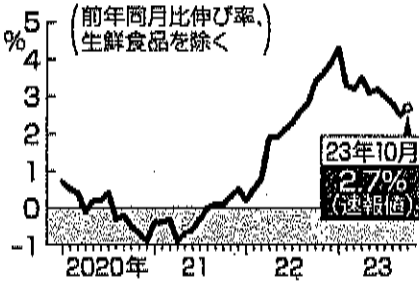
26カ月連続 食料・宿泊料が高騰

総務省が27日発表した10月の東京都部消費者物価指数（中旬速報値、2020年＝100）は、価格変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が106・0と、前年同月比2・7%上昇しました。食料や宿泊料の高騰などで26カ月連続のプラスとなり、伸び率は4カ月ぶりに拡大しました。

項目別では、エネルギー価格が14・1%下落し、前月の18・7%下落からマイ

ナス幅を縮小しました。政府の負担軽減策による値引きが10月から半額になった

都区部消費者物価指数の推移



電気・都市ガス代で、押し下げ効果が減少しました。一方、ガソリンは補助額が拡充された影響で、前月の10・0%から7・4%に伸び率が低下しました。

生鮮食品を除く食料は7・3%の上昇。前月の8・5%からプラス幅は縮小したものの、乳卵類が19・6%上昇するなど高騰が続いています。宿泊料は42・8%の大幅上昇でした。前年同月に開始した観光需要喚

起策「全国旅行支援」で下落していた反動増の側面が大きくあらわれました。

生活実感に近い生鮮食品を含む総合指数は3・3%、生鮮食品とエネルギーを除く総合指数は3・8%それぞれ伸びました。

東京都部の指数は11月24日に公表される全国消費者物価指数の先行指標となります。